

株式の状況

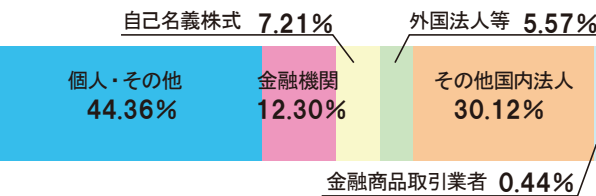
発行可能株式総数	54,767,100 株
発行済株式の総数	19,058,587 株
	(自己株式 1,374,649 株を含む。)
株主数	4,464 名

大株主（上位10位）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社ビー・エッチ	1,841	10.41
一般財団法人佐々木環境技術振興財団	1,440	8.14
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	1,122	6.35
株式会社第四銀行	850	4.81
吉井久夫	570	3.23
佐々木文雄	560	3.17
吉井久美子	556	3.15
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	447	2.53
渥美るみ子	391	2.22

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式
(1,374,649 株)を除いて計算しております。

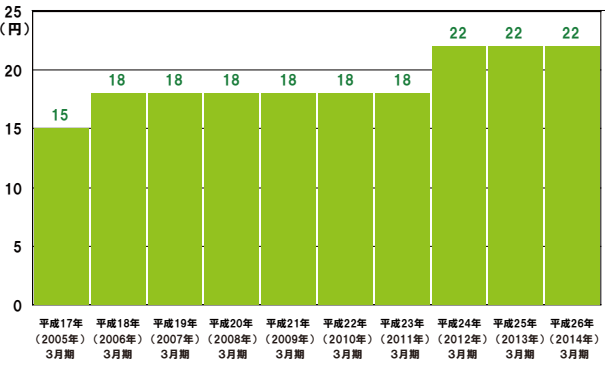
所有者別株式比率



株式メモ

社 名	ダイニチ工業株式会社
証 券 コ ー ド	5951
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
公 告 方 法	当社のホームページ (http://www.dainichi-net.co.jp/) に 掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単 元 株 式 数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座 の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
【郵便物送付先】	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
【電 話 照 会 先】	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

1株当たりの配当金の推移



DAINICHI



ダイニチ工業株式会社
株主通信
第51期 期末ご報告
平成25年4月1日～平成26年3月31日

【証券コード：5951】

Top
Message

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より当社に対し格別のご厚情を賜り、誠にありがたく御礼申し上げます。

ここに、当社第 51 期事業年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の状況をご報告申し上げます。

当事業年度におきましては主力事業であります石油暖房機器では、1971 年のブルーヒーター生産開始以来、累計生産台数は 2,500 万台を超えました。日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。当事業年度においてもお客様の要望に即した商品開発を行い、9 タイプ 28 機種の商品を発売して販売活動を継続してまいりましたが、需要期の気温が高めに推移したこと、及び灯油価格が上昇した影響を受け売上は前事業年度を下回りました。

加湿器におきましては、運転音の静かさ、日本国内生産に加えて充実したアフターサービス体制がお客様に評価されて、2003 年に生産を開始してからの累計生産台数は 120 万台を超えました。当事業年度においては 5 タイプ 15 機種を発売して、認知度向上のためのプロモーション活動などの販売活動に努めた結果、売上は前事業年度を上回りました。



代表取締役会長

佐々木 文雄



代表取締役社長

吉 井 久 夫

また、家庭用燃料電池システムの売上は、委託元の要請で生産を中断したため前事業年度を下回りました。

これらを踏まえ、第 52 期におきましては、石油暖房機器を中心にお客様にとって魅力ある商品の開発と利益貢献の大きい商品への積極的な販促活動を展開することで、売上高 198 億円（前期比 4.4％増）、営業利益 6 億 20 百万円（同 61.5％増）、経常利益 6 億 40 百万円（同 73.4％増）、当期純利益 4 億 80 百万円（同 3.2％増）を見込んでおります。

目標の達成に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 6 月

当事業年度の業績について

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善して個人消費も増加するなど景気は緩やかに回復し、物価もデフレ状況を脱して緩やかに上昇いたしました。

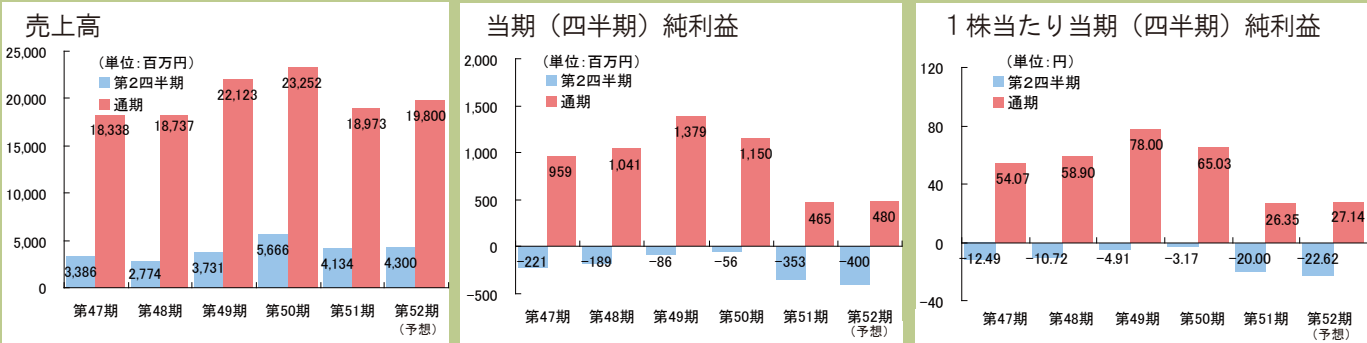
当社の主力分野であります石油暖房機器業界におきましては、東日本大震災の復興需要の落ち着きが見られ、また灯油価格が上昇を続けたこともあり、市場規模は前年に比べて縮小いたしました。

こうしたなかにあって当社は、お客様にとって本当の快適とは何かを考えた商品開発に取り組み、灯油の節約機能を強化した石油ファンヒーターなどニーズにあった商品開発、販売チャネルの特性に合わせた商品ラインナップの展開を行って販売活動を継続してまいりました。また、全社的なコスト低減、経費削減活動を推

業 績 の 推 移	当 事 業 年 度	前 事 業 年 度
	（平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで）	（平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで）
売 上 高（千円）	18,973,505	23,252,444
営 業 利 益（千円）	384,711	1,827,583
経 常 利 益（千円）	369,732	1,813,648
当 期 純 利 益（千円）	465,923	1,150,029
資 産 合 計（千円）	28,929,489	29,329,923
純 資 産 合 計（千円）	24,535,254	24,404,779
1株当たり当期純利益（円）	26.35	65.03

進し、経営体質の強化に取り組みました。

財務ハイライト



次期の見通し

今後の見通しにつきましては、各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待されますが、その一方で、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も見込まれております。

このような環境のもとで当社といたしましては、お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、品質と製品安全の確保を重視し重大製品事故を未然に防止する体制を継続することに努め、多様化する消費者ニーズに即した商品を提供してまいります。また、社内の合理化を進め経営体質改善の取り組みを継続して行ってまいります。

お客様の生活を支えるダイニチのものづくり

今年創立 50 周年を迎えた
設計から組立にいたるまで

当社は、創業当時より一貫して自社国内生産にこだわってきました。高い品質、使いやすく便利な機能、安全性にこだわり、国内自社工場で生産し、皆様にお届けしています。

石油暖房 機器

売上高 153 億 68 百万円
(前期比 9.0%減)

石油ファンヒーター

当事業年度は灯油価格が高止まりしたことを背景に、灯油の節約機能を強化した eco おまかせモードを搭載したハイグレード機種が好評でした。

なかでも最上位機種の D X タイプは前面パネルにお洒落なカラー鋼板を使用、8 段階油量モニターやバックライト付き大型液晶などの付加機能も充実しており、お客様のモニターアンケートでも最も満足度の高い機種とのご評価をいただきました。

出荷シェアも 50% 超^{※1}と 2 台に 1 台は当社のファンヒーターをお選びいただいております。市場で圧倒的なご支持を得ております。

※1 前年度 JGKA 国内出荷実績に基づき当社調べ



環境 機器

売上高 25 億 33 百万円 (前期比 56.2%減)

加湿器

当事業年度は、小型のハイブリッド式タイプをリニューアルし、持ち運びに便利な取っ手をつけた HD-3013 をラインナップに追加しました。

また、HD-5013 が、価格 . com が実施する「価格 . com プロダクトアワード 2013」の生活家電カテゴリ・加湿器部門において金賞を受賞しました。同シリーズでは 2 年連続での金賞受賞となり、全国のお客様から高いご支持をいただいております。

このような賞をいただきましたことに深く感謝し、これからもお客様に末長く愛される商品の開発に努めてまいります。



家庭用燃料電池システム

家庭用燃料電池システムにつきましては、委託元の要請で生産を中断したために、販売は前事業年度を下回りました。



その他

売上高 10 億 71 百万円
(前期比 85.4%増)

別売部品・コーヒーメーカーなど

その他部門の増加は別売部品の売上増によるものです。特に加湿器の気化フィルターは製品本体の販売台数の増加に比例して注文も大きく増えています。

また、生豆から焙煎するコーヒーメーカー「カフェプロ」シリーズは主に当社運営のインターネット通販サイトで販売を伸ばし、コーヒー愛好家やコーヒーにこだわる飲食店オーナー様からの根強いご支持をいただいております。



●販売サイトのほか、様々なコミュニケーションツールでファンが増えています。



特集 おかげさまで創立 50 周年を迎えました

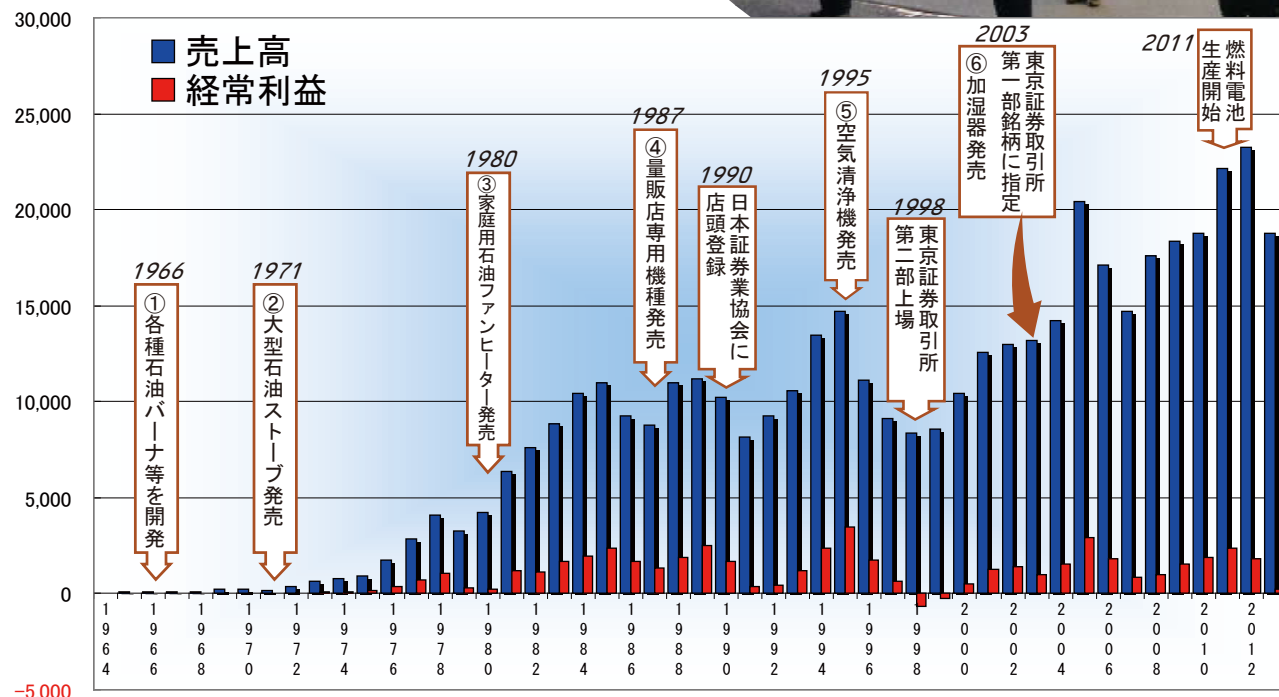
◆ダイニチ工業の誕生～現在まで

当社会長の佐々本文雄が「ブンゼン式バーナの青い炎の素晴らしさを広めたい」という意志のもと、昭和 39 年（1964 年）に創業したダイニチ工業は本年で 50 周年を迎えました。その間、平成 2 年（1990 年）には日本証券業協会に株式を店頭登録、その後東京証券取引所市場第二部と新潟証券取引所に株式上場（1998 年）、さらには東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されるなか、より多くの株主の皆様にご支援いただける会社に

成長いたしました。
そこであらためてこれまでの当社の歩みをふり振り返り、皆様にご愛顧いただいている理由を考えたいと思います。



（百万円） [売上高と経常利益の推移]



◆製品開発から見る、ダイニチ工業 50 年の歩み 〈1〉

①ストーブ以前の製品（1964～1971 年）

ダイニチ工業が創業当初に製造販売をしていたのは、風呂釜などに使う気化式バーナ等でした。後の製品で活かされる灯油の気化技術はこれらの製品によって磨かれました。

[写真は 1966 年発売の落差式バーナ]



②大型石油ストーブ（ブルーヒーター）発売（1971 年）

ダイニチ工業の代名詞となるブルーヒーターが誕生しました。全国の展示会などに出品したところ、ガス同様にクリーンな炎で燃え、煙突も不要であるということで大きな注目を集めました。

その後何度か改良が行われ、現在も当社石油暖房機器の大きな柱になっています。



③家庭用石油ファンヒーター発売（1980 年）

それまでに培った技術と、セラミックヒーターを搭載した気化器を用い家庭用ファンヒーター市場に参入しました。40 秒の着火スピードは当時の他社石油ファンヒーターをはるかに凌駕し、市場に驚きを持って迎えられました。



特集 おかげさまで創立 50 周年を迎えました

◆製品開発から見る、ダイニチ工業 50 年の歩み 〈2〉



④量販店専用機種を発売（1987 年）

石油ファンヒーターの業界販売ルートがそれまでの一般小売店から徐々に量販店にシフトしてゆくなか、当社の量販店ルート専用機種として放射窓の無いコンパクトタイプの家庭用ファンヒーターが発売されました。現在はこちらのコンパクトタイプ型がラインナップの中心になっています。

⑤空気清浄機発売（1995 年）

家電量販店に販路を広げたダイニチ工業が、初めて発売したプラスチック製品は空気清浄機でした。

この製品で磨かれた設計、静音化技術は後の製品に引き継がれることになります。



⑥ハイブリッド式加湿器発売（2003 年）

空気清浄機で得たプラスチック製品のノウハウを活かし、静かさを第一の売りとして発売。

その後、インターネットの口コミでも評判が広がり、ダイニチ工業の第 2 の柱にまで成長し、現在様々なパーティー展開を行っています。



◆ダイニチ工業は、使命・事業領域・価値観を創業当初から「社是」という形で共有し、ものづくりに励んできました

常に新しい技術を生み出し

私達が心から誇れ

お得意が安心して販売でき

使用者にいつまでも愛される

よい商品をつくる

これがダイニチ工業社員が毎朝唱和している社是です。

ダイニチ工業では、創業当時から「お客様に愛情を持って長く使用していただける商品をつくる」という使命のもと、製造業という分野で、「他社の真似をせず、社会に存在することを社員全員が誇りにできるようなものづくりをする」という価値観を貫いてまいりました。

50 年会社が成長しつづけることができましたのは、社員一人ひとりにこの社是が溶け込み、ブレのない仕事を行ってこれたからと考えております。

◆ダイニチ工業のこれから

ダイニチ工業は株主の皆様、そしてダイニチ工業の商品を愛してくださる皆様のおかげで 50 年という大きな節目を迎えることができました。皆様への感謝の念は尽きることがありません。

当社はすでに次の 50 年を見据えております。現在の製品群に加え、私たちの生活環境をより快適にする製品を中心に、今後も積極的な開発を行ってゆきます。

また国内生産を基本に、安心で安全、そして高品質な製品製造を行うとともに、地域の雇用にも貢献してまいります。



株主の皆様に対しては安定配当を基本とし、今まで以上に満足いただけるよう、着実な成長を目指します。

これからも常に新しい技術に挑戦しつづけるダイニチ工業にどうぞご期待ください。

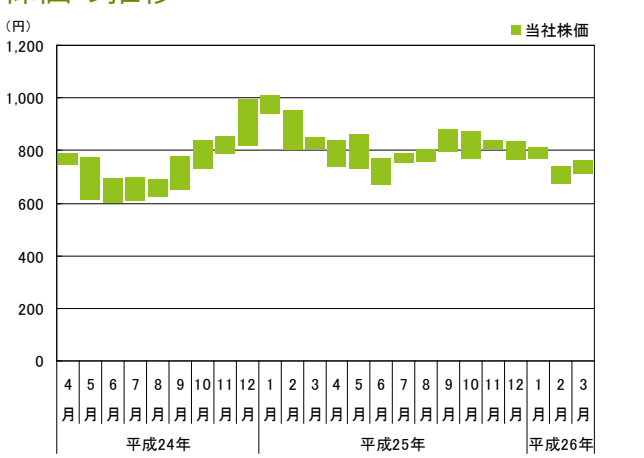
貸借対照表

	(単位：千円/千円未満切捨)	
	当事業年度 平成26年 3月31日現在	前事業年度 平成25年 3月31日現在
流動資産	21,284,851	22,299,491
現金及び預金	12,075,756	10,000,112
受取手形	1,062,193	1,175,368
売掛金	1,551,122	4,596,074
有価証券	111,104	197,477
製品	4,513,220	4,394,918
仕掛品	100,943	297,402
原材料及び貯蔵品	866,434	1,158,426
前払費用	39,242	33,521
繰延税金資産	246,734	279,334
その他の流動資産	724,499	178,654
貸倒引当金	△6,400	△11,800
有形固定資産	6,105,062	5,270,253
無形固定資産	80,586	89,219
投資その他の資産	1,458,988	1,670,958
資産合計	28,929,489	29,329,923
流動負債	3,136,800	3,767,806
買掛金	1,238,702	1,097,846
未払金	296,770	431,281
未払費用	153,049	173,372
未払法人税等	247,298	650,050
前受金	106,666	11,259
預り金	596,445	889,485
賞与引当金	251,068	251,711
製品保証引当金	246,800	262,800
固定負債	1,257,435	1,157,336
再評価に係る繰延税金負債	118,748	118,748
退職給付引当金	299,786	273,488
役員退職慰労引当金	838,900	765,100
負債合計	4,394,235	4,925,143
株主資本	24,326,261	24,249,479
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,572	4,526,572
利益剰余金	16,730,424	16,653,549
自己株式	△989,548	△989,455
評価・換算差額等	208,992	155,299
純資産合計	24,535,254	24,404,779
負債純資産合計	28,929,489	29,329,923

損益計算書

	(単位：千円/千円未満切捨)	
	当事業年度 (平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日)	前事業年度 (平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日)
売上高	18,973,505	23,252,444
売上原価	14,546,123	17,644,300
売上総利益	4,427,381	5,608,144
販売費及び一般管理費	4,042,670	3,780,560
営業利益	384,711	1,827,583
営業外収益	153,951	173,770
営業外費用	168,930	187,704
経常利益	369,732	1,813,648
特別利益	353,255	171
特別損失	27,805	40,580
税引前当期純利益	695,181	1,773,239
法人税、住民税及び事業税	233,000	640,363
法人税等還付税額	—	△19,040
法人税等調整額	△3,741	1,887
当期純利益	465,923	1,150,029

株価の推移



Corporate Data 会社概要

平成26年3月31日現在

社名：ダイニチ工業株式会社

英文社名：Dainichi Co.,Ltd.

本社：〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6

創立年月日：昭和 39 年 4 月 1 日

資本金：40 億 5, 881 万円

従業員数：496 名

株式についてのご案内

お取扱窓口

お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関お取扱店

みずほ証券、及びみずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9：00～17：00）

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
みずほ銀行 本店及び全国各支店
（みずほ証券では取次のみとなります。）

ホームページのご案内

当社ホームページでは、「製品情報」や「お客様サポート・お問い合わせ」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「会社情報」内の「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表等各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ工業

検索

